

瀬孝志氏  
スを解説  
目指す。  
参加費  
はつな

◇男女平等参画推進センターが企画力向上講座◇  
名古屋市男女平等参画推進センターは16、17の両日、  
名古屋市中区の同センターで全4回の連続講座「企画力  
アップ講座―あなたの企画を実現しよう」を開催する。  
講師は名古屋学芸大学講師、コピーライターの上鶴

お部屋探し CAFE

ヘヤギメ!

TEL 052-481-8888

Nagoya Business

和

酒類食品卸の秋田屋  
(本社名古屋市西区天  
塚町2の8の1、浅野  
純史社長、電話052  
・524・2153)

はこのほど、東日本大  
震災の支援事業の一環  
として「第16回日本の  
お酒を味わう会」を開  
催した。被災した東北  
地方の感元支援を目的  
に開催。一般客など8  
00人以上が来場し  
た。

日本沢明オシムエテ告布

全国170社以上の  
焼酎、梅酒など800  
種類メーカーが出席。  
酒類メーカーが出席。  
種類のお酒が顔をそろ  
えた。被災地支援とし  
て。

### 会議需要など調査

「MICE」委託先募集 愛知県

愛知県は、県内で「調査事業」を実施、そ  
わられるMICEの実態の業務委託先を募集す  
る。把握し、地域一体と  
なっており、MICEは企業等が  
行なう会議(Meeting)、  
E誘致方策を作成する  
ため、「MICE実態 報奨・研修旅行(Incentive)業者を募集する。委託

同社の仕入れ先であ  
る宮城、福島など東北  
地方の感元の銘柄も顔  
をそろえ、ブースでは  
「five Travel」、国際  
会議(全国会議(Conve  
ntion)、イベント、  
展示会・見本市(Even  
t/Exhibition)の頭文  
字をつないだ言葉。  
今回、その誘致策を  
定めるため、実態を調  
査する。それを行う事  
「愛知・名古屋MICE  
Eアクションプラン」  
54・6373)まで。

催者に対する調査を通  
じ、開催の実態を把握  
し、開催の実態を把握  
知県自治センターで行  
う。問い合わせは愛知  
県産業労働部観光コン  
ベンション課イベント  
・コンベンショングル  
ープ(電話052・9  
54・6373)まで。

多

愛知県は  
る活動に  
支援する  
の活動に  
ック一写  
愛知県は  
化が進む  
ルワーカ

## 会社の一生

設立から事業承継まで

◆45◆

企業が継続的に運営し  
ていくために避けて通れ  
ない課題の一つが「事業  
承継」です。

中小企業の重要な経営  
課題の一つでもある「優  
秀な人的資源の確保」と  
同様に、後継者の選定に  
頭を抱える企業経営者も  
少なくないようです。

シンクタンクの調べに  
よると、55歳以上の経営  
者で、事業の継続を希望  
している企業は約95%  
で、その内、後継者が決  
まっていると回答した企

### 後継者不足という経営課題

## 財務や将来性も関係

と回答しているというこ  
とです。

また、ある金融機関の  
アンケートによると、経  
営者が引退をしたいとい  
う希望年齢64・5歳に対  
し、法人企業の代表者平  
均年齢は、約65・6歳と、

すでに希望退職時期を上  
回っているというこ  
なります。このことから  
も事業承継に対する「後  
継者の選定と育成」の課  
題は、事業継続に大きな  
インパクトを与えている  
ことが分かります。  
「一方で、後継者候補の  
・0%と、現状の経営状  
況を捉え方をみてみると、  
継を拒む理由として最も  
多かつた理由が45・8%  
「親の事業に将来性を  
感じない」という理由で  
債務超過(保有資産より  
負債が過大)企業が全  
体の14%で、資産と債務  
の均衡企業が28・5%と、

また、次いで「自分に  
経営していく能力・資質  
がない」という回答が36  
も、事業承継の重要な課  
題となるというこ  
とです。

次世代へのバトンタッ  
チを考える上では、既存  
事業の将来像を具体的に  
シミュレーションし、来  
るべき承継へのイメージ  
を具体化する必要がある  
といつことでしょう。

【中小企業経営支援協  
議会、リックピーブス  
ソリューション 名古屋  
支社長 今井右

愛知県下53店舗

女性だ  
ットネ  
近畿大  
オープン  
近畿大  
日、名  
パホテ  
議大生  
開講座  
エンスカ  
する。  
同学部  
つ優れた  
し、それ  
応用する  
られた工  
社会のた